

日本学術会議総合工学委員会・臨床医学委員会合同
放射線・放射能の利用に伴う課題検討分科会（第25期・第4回）議事要旨

1. 日時 令和5年5月22日（月） 10:00~12:30
2. 会場 日本学術会議会議室6-A（1）及び遠隔会議（オンライン）
3. 参加者 神田玲子*、大倉典子*、柴田徳思、中野隆史*、神谷研二*、竹田敏一*、井上優介*、岡沢秀彦*、佐治英郎*、多胡正夫*、中嶋英雄*、東達也*（オブザーバー）、多湖正夫*、櫻井博儀*、遠藤啓吾（敬称略）*はオンライン出席者

4. 議事内容

1) 前回議事録について柴田委員長から資料1に基づき確認のための説明があった。

2) 小委員会の活動報告

核医学分野の大型計画検討小委員会の幹事である東氏から小委員会で作成した記録「放射性薬剤の研究開発・製造拠点の整備」について資料2に基づき説明された。

3) 記録の審議

説明のあった記録に対し、以下のコメントがあった。

- ・ 1. はじめに の内容として、日本は高齢社会になっており、病気になる人も多いので、放射性薬剤が重要であることを追加したらよい。
- ・ 「・・・供給体制の脆弱化が不安視されている。」と書かれているが、日本の高齢化社会となり、経済性安全保障のため日本でやる必要があることを言ったらどうか。原子力委員会のアクションプランにも出ているので、入れることができる。
- ・ Tc-99m については1ページにのべられているが、I-131 については述べられていない。少しでも入れるべき。8ページには記載されているので、「はじめに」にも述べるようにしたらよい。
- ・ 8ページに Ra-226 について述べられているが、世界における Ra-226 の動きについて追加記載して、Ra-226 の開発をすすめるようにしたらどうか。
- ・ 10ページの GMP 遵守のための具体策について述べる必要はないか。このままでもよいとの意見あり。
- ・ 16ページの Cu-64 ATSM について。この放射性治療薬を使うなら大型施設となる。オールジャパン体制としての構築の節である（5）に加速器施設充実について述べたらどうか。
- ・ 5章の（1）でプロトンビーム換算で、およそ70 MeV, 150 μ A 程度と書かれているが、そのデータが出てきた根拠が分からない。研究開発の観点から述べたつもりである。
- ・ 「・・・が少ない」というネガティブなことは書かなくてよい。
- ・ 「時代遅れ・・・」と書かれている箇所は省いた方がよい。

- ・ 要旨、5章(3)について。「……基礎医学、放射薬学、物理工学、加速器工学、……などの将来の放射性薬剤創薬研究開発の指針作成を行う。」とあるが、「……基礎医学、放射薬学、物理工学、加速器工学、……を融合して考え、将来の放射性薬剤創薬研究開発の指針作成を行う。」というように変更したらどうか。

4) 今後の方針

審議された事項を基に記録の修正案を作成し、それを分科会の委員にメールベースで審議してもらい、依存がなければ、分科会としては承認されたこととする。

5) 次期への引継ぎ

本分科会は重要な分科会であり、26期も本分科会が引き継がれるように、26期も任期がある委員がメインになり、分科会を立ち上げてもらいたいと委員長から発言があった。

以上